

若あゆ



R 4. 2.16
No.16

男20名女22名計42名

学校教育目標「夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気あふれる横田っ子」

感動の「なわとびフェスティバル」



2月3日(木) なわとびフェスティバルを行いました。種目は、個人戦と縦わり班(異学年混合の班編制)のチーム戦。個人戦は、前跳びと技跳び。自分の目標に向かって、1分間に何回跳べるか挑戦です。技跳びでは、片足跳び、あや跳び、二重跳び、三重跳び、はやぶさ(二重跳びとあや跳びの合わせ技)などいろいろな技が見られました。縦わり班のチーム戦は、長縄の8の字跳びです。雨天時のチャレンジタイムや体育の時間に練習してきたなわとびですが、12月からなわとびフェスティバル目指して本格的に取り組みました。なわとびフェスティバルの主催は、健康委員会の児童。練習は、6年生がリーダーとなって取り組んできました。練習の間もたくさんの感動がありました。はじめは、跳べなかった1年生が跳べるようになったり、記録を伸ばしたり・・・

いよいよ当日。全力で取り組みました。8の字跳びでは、どのチームも記録更新! 喜びの歓声があがりました。チーム内での協力、励まし合い、作戦、練習方法の工夫もあったからだと思います。願いや思いがこもった他の児童やチームを応援する手拍子や声も大きな力となりました。

閉会式。終わりの言葉となる場面で、6年生が「ちょっと待った!」をかけました。そして、6年生の見事な長縄の8の字跳び(3分間)を見せてくれました。6年生も記録に挑戦。全校児童、全職員の応援を受け、記録は新記録「329回」これは、気仙地区の小中学校の中で第2位(2月9日現在)の記録です。



【健康委員会】



【個人戦～自分の目標に向かって】



【縦わり班の8の字跳び】



【さすが! 6年生の8の字跳び】

薬物乱用防止教室

1月25日(火) 6年生が、薬物乱用防止について学びました。講師は、工藤 拓也先生(そうごう薬局高田店)です。「これは、何でしょう」と見せられたラムネのお菓子に見える薬物MDMA(麻薬の一種)の画像から授業は、始まりました。薬物は一度、使用するとやめられなくなる(依存性)や使用すると身体が壊れていくことなど、わかりやすく説明して下さいました。自分を大切にするために、薬物を勧められても「必ず断る」と強い意志を持った6年生でした。

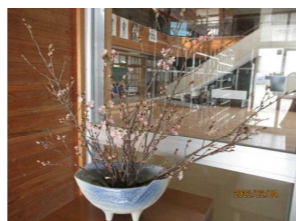


もうすぐ・・・春



横田小学校の校舎内に「桜」が咲いています。これは、佐々木美代子さん(8区)が寄贈して下さった桜です。

震災のときに支援して下さいました方からいただいた桜だそうです。今もお手紙で交流が続いているそうです。心まで温かくなりました。ありがとうございました。



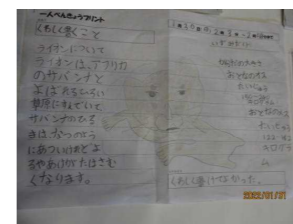
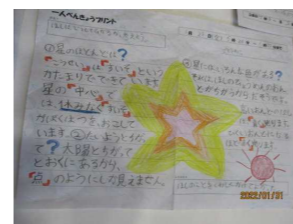
児童朝会 ～2.3年生 発表～

2月8日(火) 2年生は、図書館や給食センターについて発表しました。3年生は、横田の産業(ピーマン、ゆず、りんご)や川の駅についてです。タブレットを使い、クイズ形式も加えながら、わかりやすく伝えることができました。その後、児童同士で感想の交流。執行部(学校のリーダー)が低学年の感想交流を支える姿・・・そのため、感想発表では感想を話そうと意欲的に挙手する児童がたくさん見られました。



低学年も自学ノート スタート!

3学期は、低学年も自学ノート(自ら課題を決めて取り組む家庭学習)の取り組みを始めました。高学年のノートで、イメージをつかんだのか自分の興味・関心を深めたり、学習したことを更に学んだりとする気満々です。



【2年生 後藤 笑子さんのノート】 【2年生 泉田 莉沙さんのノート】

避難訓練 ～自ら考え判断し行動する～

2月1日(火) 清掃中のJアラート鳴動時の訓練、2月4日(金) 休み時間の地震発生時の訓練をするために、事前指導を行いました。Jアラートと何か、サイレンの音、もしミサイルが落ちてきたらどんなことが起こるのか、どのような行動で命を守れば良いのかを学びました。

いよいよ本番。清掃中でしたが、縦わり班の班長が誘導し、窓ガラスのない校長室前廊下や6年教室前廊下に誘導し、ダンゴ虫のポーズ(頭をかかえ、身体を小さくして座る)をしっかりとることができました。休み時間は、「落ちてこない 倒れてこない 動いてこない」場所を自分で考えて一次避難。低学年にとって、高学年のリーダーの率先した声かけが心強かったと思います。一次避難した場所が適切だったのかそれぞれの場所で、先生と振り返りをしました。

いつも大人と一緒にいるとは限りません。また、未来において自分の命や大切な人の命を守れる人になるように・・・更に「防災学習」に取り組んでいきます。



全校朝会 「どのように人の話を聴いたら良いか考えよう」

ぼくは、話しているのに無視されるとイラッとしたけれど、うなずいたり目を合わせて聞いてもらおうと「ちゃんと聴いてくれたんだな」と感じました。これからは、相手の目を見て話したり聴いたりしたいと思いました。(6年 杉山 智史 さん)

しらんぷりして聞かれると、話しぶらいと思いました。うなづきながら聞いてもらおうと話しやすいと思いました。(2年 紺野 結斗さん)

しらんぷりして話していると気持ちが伝わらないと思いました。話している人の目を見て話をきくと気持ちをこめることができると思いました。(2年 泉田 莉沙さん)

